

日本学生支援機構奨学金 申請手順書

■貸与奨学金制度 概要

大学院で利用可能な日本学生支援機構の貸与奨学金には**第一種奨学金**（無利子）と**第二種奨学金**（有利子）があります。**いずれの奨学金も大学院修了後に返還が必要です（給付奨学金はありません）**。奨学金の種類・金額は下表の中から選択できます。第一種奨学金と授業料後払い制度は併用できません。第一種奨学金と第二種奨学金の併用、または、授業料後払い制度と第二種奨学金の併用は可能です。

		修士・教職大学院	博士
第一種奨学金	第一種奨学金（無利子） 【推奨】	月額 50,000 円/ 88,000 円	月額 80,000 円/ 122,000 円
	授業料後払い制度 （無利子）	授業料支援金（年額最大 535,800 円+保証料） 生活費奨学金（月額 0 円/20,000 円/40,000 円）	—
第二種奨学金（有利子）		月額 50,000 円/80,000 円/100,000 円/130,000 円/150,000 円	
入学時特別増額貸与奨学金 （有利子）		入学時のみ一時金 100,000 円～500,000 円（10 万円単位で選択） 利率は第二種奨学金（月額貸与）の利率に 0.2% 上乗せした利率	

第一種奨学金と授業料後払い制度（修士・教職大学院）

2025 年度修士・教職大学院入学生より「授業料後払い制度」が本格実施されていますが、東京学芸大学では以下 2 つの理由から**通常の第一種貸与奨学金の利用を推奨しています**。

- 国立大学では、通常の第一種貸与奨学金（月額 88,000 円）の方が貸与の上限額が大きいため。
- 「授業料後払い制度」では、機関保証・所得連動返還方式しか選択できないため。

審査基準

貸与奨学金の審査基準には**家計基準**と**学力基準**があります。

家計基準は学生本人（と配偶者）の収入に基づいて審査されます。生計維持者の収入は審査に影響しません。学部で第一種奨学金が不採用となった方も、大学院では第一種奨学金に採用される場合があります。詳細は貸与奨学金案内 p7-9 を参照してください。

保証制度

日本学生支援機構の貸与奨学金では、**機関保証**か**人的保証**を必ず選択します。**いずれの保証制度でも奨学生本人が奨学金返還の義務を負います。**詳しくは貸与奨学金案内 p18-22 を参照してください。

機関保証	保証機関（公益財団法人日本国際教育支援協会）に保証を依頼し、連帯保証を受ける制度です。 一定の保証料の支払いが必要です （保証料の目安は貸与奨学金案内 p45-46）。毎月の貸与月額から保証料が差し引かれます。授業料後払い制度の授業料支援金では、授業料の額に応じて保証料が加算されます。
人的保証	日本学生支援機構が定める条件を満たす人に連帯保証人（父母等）と保証人（おじおば兄弟姉妹等）を引き受けてもらう制度です（ 連帯保証人と保証人は、奨学生が奨学金を返還しない場合に返還義務を負います ）。選任条件（貸与奨学金案内 p20-22）を確認のうえ、必ず本人に承諾を得てから選任してください。

■申請手順

手順1 大学より以下の配布書類を受け取り、不足が無い確認（チェック☑）します

- ☐ 申請手順書（本紙）
 - ☐ 提出一覧表
 - ☐ 奨学金案内ダイジェスト・スカラネット下書き用紙
 - ☐ 「奨学金確認書兼地方税同意書」のセット（紫色の角2封筒）
 - ☐ 「貸与奨学金案内（大学院予約）」※電子版のみのため、大学HPからダウンロードしてください。
- 大学HPに申請書類の郵送先登録フォームを用意しておりますので、郵送希望の方はご登録ください。
 - 配布書類は学生課3番窓口でも配布します。



東京学芸大学

手順2 下記(1)～(4)の通り、申請書類を作成し、スカラネット入力を行います

- (1) 本紙と貸与奨学金案内（p3-22）を熟読し、奨学金制度の概要を確認します。
- (2) 本紙、提出一覧表、貸与奨学金案内（p23-34）を参照し、大学へ提出する書類を用意します。**準備に2週間ほど要する場合がありますので、早めにご確認ください。以下に該当する方は別途用意する書類があります。**
 - 日本国籍ではない方
 - 申込者本人又は配偶者のマイナンバーが提出できない方
 - 海外在住等により、申込者本人又は配偶者の「令和7年度（非）課税証明書」が発行されない方
 - 希望する奨学金の家計基準を超える方で、進学前1年以内に離職または無給休職をされた方
- (3) 本紙 p4-5 を確認しながら、「スカラネット入力下書き用紙」を記入します。
「スカラネット入力下書き用紙」を見ながらスカラネット入力を行います（Web入力）
スカラネット（8:00-25:00） <https://www.sas.jasso.go.jp/scholarnet/>
【スカラネット入力・マイナンバー入力期限】2025年10月16日(木)まで
- (4) 「奨学金確認書 兼 地方税情報の取扱いに関する同意書 兼 個人情報情報の取扱いに関する同意書（奨学金確認書兼地方税同意書）」をよく読み、署名し、身元確認書類（学生証のコピー等）を貼付します（配偶者がいる方は、配偶者にも署名をもらいます）。提出前に本人控用のコピーを取ります。



スカラネット

手順3 「提出一覧表」の書類を大学へ提出します（学生課3番窓口 or 郵送）

手順2 で用意したすべての書類を東京学芸大学へ提出します。

【提出期限】2025年10月23日（木） 必着

窓口提出の場合：中央2号館2階 学生課3番窓口へ提出

郵送提出の宛先：〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学 学生課 奨学金担当

諸注意：返信用レターパックライトを**1枚**同封してください。

郵送の場合は、封筒の表面に「**奨学金申請書類（大学院予約） 在中**」と朱書きし、簡易書留、レターパックライト等、郵送記録の残る方法で郵送してください。

手順4 「奨学金確認書兼地方税同意書」を同封の紫色の長形3号封筒に入れ、郵便局窓口にて日本学生支援機構へ郵送します（簡易書留郵便）

【提出期限】2025年10月24日（金） 必着

やむを得ず各種期限に遅れる場合は、必ず期限前に学生課奨学金担当(042-329-7187)までご相談ください。

■大学へ提出する書類について

提出された書類は返却しませんので、必ず本人控用にコピーまたは写真を取ってください。

電子データは東京学芸大学の奨学金制度 Web サイトにも掲載しています（「東京学芸大学」QR コード）。

1. 全員

- 提出一覧表

提出書類に不足が無いチェック☑しながら記入します。

- 成績証明書（厳封不要）

教職大学院・修士	大学（学部）の成績証明書
博士	大学院（修士・教職大学院）の成績証明書

公印のある原本。厳封されていなくてもかまいません。東京学芸大学に在籍中または過去 10 年以内の東京学芸大学卒業生は提出不要です。成績証明書にて科目の単位取得年度が分からない場合は、成績通知書など取得年度がわかる書類を併せて提出してください。

- 奨学金振込口座の情報がわかる書類

奨学金振込口座は本人名義の普通預金口座に限ります。一部利用できない金融機関があります（貸与奨学金案内 p10 参照）。「金融機関名・コード」「支店名・コード」「口座番号」「名義人」がわかる書類（通帳、キャッシュカード、web 通帳等のコピー等）を印刷し、提出します。デビットカード番号・クレジットカード番号が写り込む部分は黒塗りしてください。

- スカラネット入力下書き用紙

全項目必ず記入してください(大学でスカラネットの入力ミスがないか確認するために使用します)。
記入後、大学に提出する前に、本人控用にコピーまたは写真を取ってください。

- レターパックライト 1 枚（選考結果送付用）

大学から選考結果を通知するために使用します（2026 年 1 月中旬発送予定）。

宛先等は次の通りご記入ください。

郵便番号・お届け先 To 欄	あなたの住所・氏名等を記入(おなまえの「様」は削除しないでください)
ご依頼主 From 欄	空欄
品名	書類



2. 日本国籍ではない方

- 在留資格及び在留期間が明記されている証明書

貸与奨学金案内 p7「4. 申込資格」を確認してください。

3. 申込者本人又は配偶者のマイナンバーが提出できない方

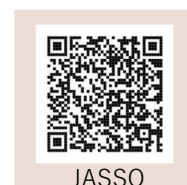
[JASSO 様式] の書類は、日本学生支援機構 HP（「JASSO」QR コード）から取得します。

- [JASSO 様式] マイナンバーに代わる提出書類（様式）と様式内で指定された添付書類

- 申請者本人・配偶者両名の令和 7 年度（令和 6 年分）（非）課税証明書

貸与奨学金案内 p29 を確認してください。

※必要なのは「マイナンバーカード」ではなく「マイナンバー（個人番号）」です。マイナンバーがわからない場合は、マイナンバー通知カードやマイナンバー記載の住民票等でマイナンバーを確認し、スカラネットからマイナンバーを提出してください。



4. 海外在住等により、申込者本人又は配偶者の「令和7年度（非）課税証明書」が発行されない方

[JASSO 様式] の書類は、日本学生支援機構 HP（「JASSO」QR コード）から取得します。

- [JASSO 様式] マイナンバーに代わる提出書類（様式）
- [JASSO 様式] 海外居住者のための収入基準額算出ツール兼申告書
- 申請者本人・配偶者両名の令和7年度（令和6年分）（非）課税証明書
（課税証明書が発行されない方は、2024年1月～12月の給与明細等）
- その他、「海外居住者のための収入基準額算出ツール兼申告書」内で指定された添付書類
用意できない書類がある場合（対象期間に無収入で、無収入であったことの証明書が発行されない国にお住まいだった方、等）は、お早めに学生課学生支援係までご相談ください。
貸与奨学金案内 p29 を確認してください。



JASSO

5. 希望する奨学金の家計基準を超える方で、進学前1年以内に離職または無給休職をされた方

- 進学前離職の特例措置に係る申告書（「東京学芸大学 QR コード」からダウンロードしてください。）
 - 事実確認ができる書類（以下イ～ホいずれか。離職・休職日と申請者本人の氏名の記載があるもの）
 - イ）会社発行の離職（退職）証明書
 - ロ）雇用保険被保険者離職票（写し）
 - ハ）雇用保険受給資格者証（写し）
 - ニ）退職（離職）日の記載がある源泉徴収票（写し）
 - ホ）休職日の記載がある休職証明書（無給であることがわかるもの）
- 貸与奨学金案内 p34 を確認してください。

スカラネット入力下書き用紙

記入後、大学に提出する前に、本人控用にコピーまたは写真を取ってください。

表紙	
受付番号	スカラネット入力完了後に記入
識別番号入力	
識別番号（ユーザ ID・パスワード）	ユーザ ID：10400600 パスワード：dyd5s46w
奨学金申込専用ページ	
ログイン（申込 ID・パスワード）	奨学金確認書兼地方税同意書（紫色封筒の中）に記載のものを記入
③－あなたの入学（予定）先情報	
③1（2）課程	教職大学院：「専門職大学院（その他）」 修士：「修士・博士前期」 博士：「博士・博士後期」
③1（3）研究科	教職大学院・修士：「教育学」 博士：「連合学校教育学」
③1（4）専攻コード	記入不要
③1（6）昼夜課程	「昼」
③1（8）修了予定年月	教職大学院・修士：「2028年3月修了（見込）予定」 博士：「2029年3月修了（見込）予定」
③1（9）正規の修業年限 ※長期履修、教員免許コースは要申告	教職大学院・修士：「2年0か月」 ※教員免許コースは3年0か月 博士：「3年0か月」

⑤－奨学金貸与額情報	
⑤ 4 利率算定方法	「利率固定方式」「利率見直し方式」から選択（採用後に変更可） なお、2025 年 3 月貸与終了者の基本月額利率は、利率固定方式で 1.641%、利率見直し方式で 1.100%です。
⑧－保証制度	
1. 保証制度を選択	機関保証か人的保証を選択してください。 人的保証を選択する場合は連帯保証人・保証人に選任予定の方に許可を得てから記入してください。
⑩－あなたの研究情報	
P Cで入力・印刷したものの貼付でも可。1.2.は全員記入、3.は博士志望者のみ記入	
⑩－あなたの研究情報	
⑪－家庭事情情報	
P Cで入力・印刷したものの貼付でも可	
マイナンバー（個人番号）の提出等に関する入力内容記入欄	
スカラネットから申込内容を入力した後、マイナンバー提出の手続きが必要です。 提出内容を記入し、マイナンバー提出用のサイトからマイナンバーを提出してください。 ※スカラネット「メインメニュー」画面左下の「個人番号（マイナンバー）の提出等」ボタンを押すと、マイナンバー提出用サイトへ移動します。	

申請書類に不備不足があった場合は、メールか電話にて連絡します。連絡があった場合は、その都度指定された期日までに不備を解消してください。

結果は 2026 年 1 月中旬に通知予定です。手順 3 で提出いただいた返信用レターパックライトにて、選考結果を通知します。採用候補者となり、東京学芸大学大学院に進学した場合は、入学後に進学届を提出することで奨学金の振込が開始されます。進学届提出の手続きについては、**2026 年 3 月下旬**に東京学芸大学 HP へ掲載予定です。

（参考）返還免除制度について ※第一種奨学金のみ、第二種奨学金は対象外

貸与奨学金案内 p13 をご確認ください。

特に優れた業績による返還免除

大学院**第一種奨学金**の貸与奨学生であって、在学中に特に優れた業績をあげた者として日本学生支援機構が認定した場合には、貸与期間終了時に奨学金の全部または一部が免除される制度があります。なお、「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業」「次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）」「国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業（BOOST）次世代 AI 人材育成プログラム（博士後期課程学生支援）」の支援を受ける博士課程の学生は適用対象外となります。申請時期は**貸与終了年度の 12 月末**を予定しています。

教員になった方に対する奨学金の返還支援について（教職大学院のみ）

2024 年度より、教員になった方に対する奨学金の返還支援が始まりました。対象者は、教職大学院に在籍し、教員採用選考試験に合格、第一種奨学金の貸与終了年度（教職大学院修了年度）の翌年度から正規教員となり、特に優れた業績を挙げた者として日本学生支援機構に認定された方です。**条件を満たした方全員が、教職大学院在学期間に貸与を受けた奨学金について全額返還免除となります。**この制度は上記「特に優れた業績による返還免除」制度により実施されます。申請時期は**貸与終了年度の 12 月末**を予定しています。

特に優れた業績による返還免除＜教職大学院・修士内定制度＞

2026 年度に修士課程・専門職学位課程へ進学する予定の大学院第一種奨学金貸与奨学生を、学内選考のうえ返還免除内定候補者として推薦する制度があります。申請時期は進学前の **2026 年 12 月末**です。

特に優れた業績による返還免除＜博士進学時内定制度＞

2026 年度に博士課程へ進学する大学院第一種奨学金貸与奨学生を、学内選考のうえ返還免除内定候補者として推薦する制度があります。本制度は、博士課程進学時に「特に優れた業績による返還免除者」に内定することによって、博士課程進学のインセンティブを付与し給付的効果を充実することを目的としています。申請時期は、進学後の **2026 年 12 月末**を予定しています。

（参考：<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/index.html>）

【マイナンバー関連の問い合わせ先】

マイナンバー提出専用コールセンター TEL: 0570-001-320（ナビダイヤル・平日 9:00-18:00）

※「奨学金確認書兼地方税同意書」に関する質問は大学では一切回答できません。

【大学担当 問い合わせ先】

中央 2 号館南講義棟 2 階 3 番窓口 学生課学生支援係（奨学金担当）

TEL: 042-329-7187（平日 8:30-12:00 13:00-16:45）Email: syougaku@u-gakugei.ac.jp